

石油製品の価格動向について

平成19年5月21日
生活環境部
総務企画グループ

1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、5月11日～17日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	5月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	130	137	5.4
		セルフ	127	133	4.7
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	109	116	6.4
		セルフ	106	112	5.7
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,267	1,331	5.1
		セルフ	1,202	1,274	6.0
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,377	1,449	5.2
LPGガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,724	6,518	3.1

ガソリン、灯油は2か月連続、軽油は3か月連続で値上がりした。

特にガソリンと軽油は、7円と大幅に値上がりし、昨年11月以来の水準となった。

これは、元売各社における5月出荷分の卸売価格の大幅な引き上げが、小売価格に転嫁されたためと見られる。

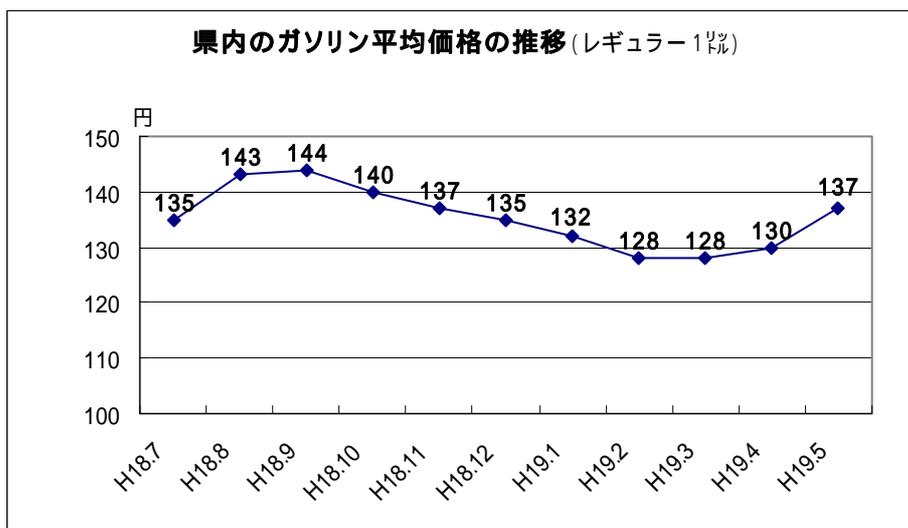
6月も、元売各社の卸売価格に反映されるコストが1円程度上昇するとされていることから、小売価格も穏やかな値上がりが続くと考えられるため、引き続き動向を注視していく必要がある。

LPGガスは、今回値下がりを見せたが、総体として昨年12月以降値上がり傾向にあることに加え、サウジアラビアの国営石油会社が5月積みの液化石油ガス（LPGガス）の価格を2か月連続で引き上げるとしていることから、引き続き動向を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

一般店舗価格

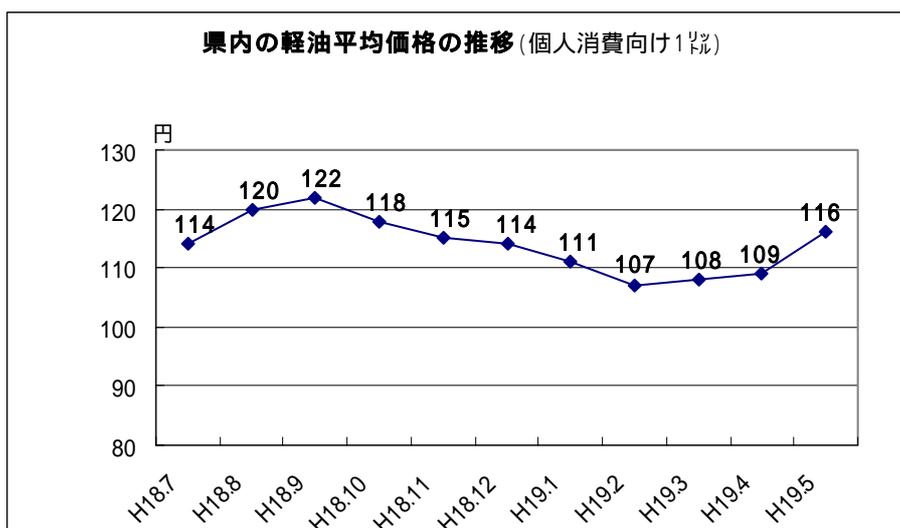


7か月ぶりに値上がりに転じた4月に続き、5月は2か月連続で値上がりし137円となった。7円と大幅に値上がりし、昨年11月以来の水準となった。

元売各社における5月出荷分の卸売価格の大幅な引き上げが、小売価格に転嫁されたためとみられ、6月も卸売価格の上昇が小売価格に反映されるとされていることから、引き続き動向を注視していく必要がある。

(2) 軽油価格

一般店舗価格



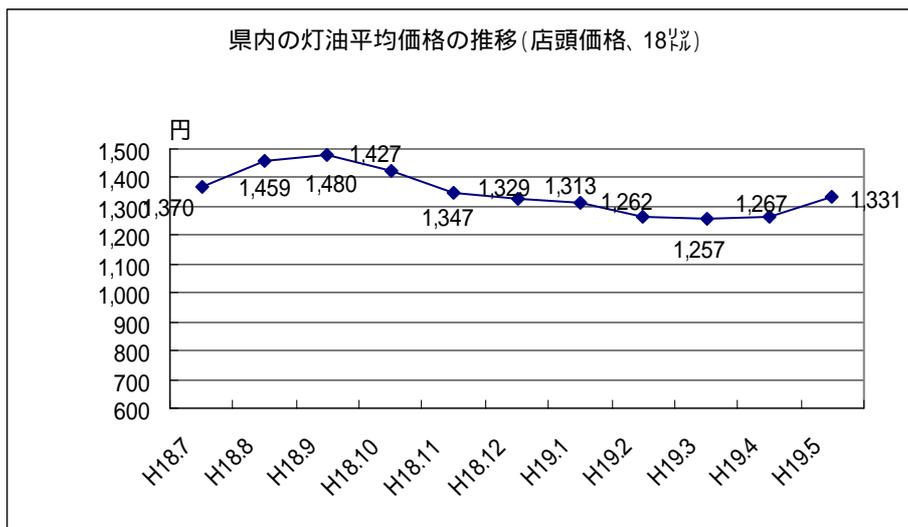
4月調査結果と比較すると、5月は7円値上がりし、116円となった。

元売各社が5月出荷分の卸売価格を大幅に引き上げ、価格に転嫁されたためとみられ、3か月連続の値上がりとなった。

6月も卸売価格の上昇が小売価格に反映されるとされていることから、引き続き動向を注視していく必要がある。

(3) 灯油価格

一般店舗価格

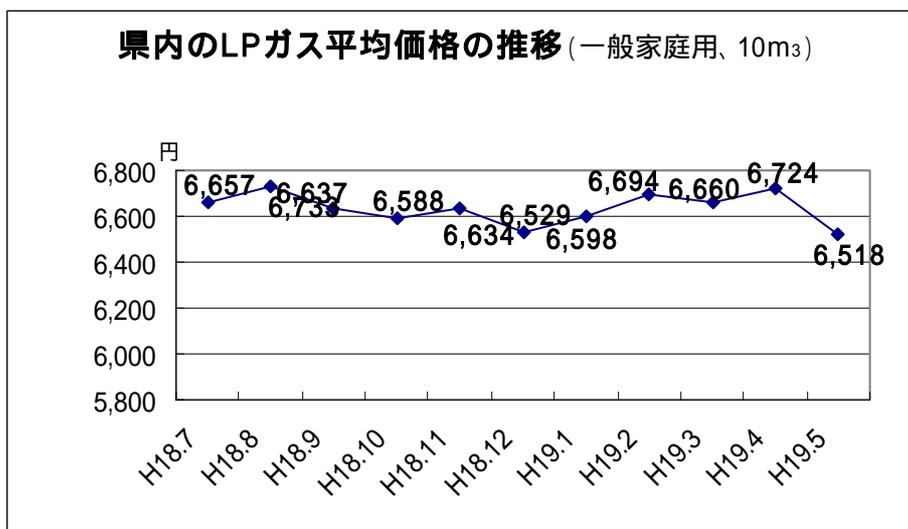


4月調査結果と比較すると、5月は64円(1ℓ当たり3.6円)値上がりし、1,331円となった。

需要期は過ぎたものの、卸売価格の上昇が続いていることから引き続き動向を注視していく必要がある。

(4) LPガス価格

一般店舗価格



4月調査結果と比較すると、5月は6,518円となり、206円値下がりした。

LPガスは、今回値下がりを見せたが、総体として昨年12月以降値上がり傾向にあることに加え、サウジアラビアの国営石油会社が5月積みの液化石油ガス(LPガス)の価格を2か月連続で引き上げるとしていることから、引き続き動向を注視していく必要がある。